

事務連絡  
令和4年11月18日

各 〔 都道府県  
保健所設置市  
特別区 〕 衛生主管部（局） 御中

### 厚生労働省新型コロナウイルス感染症対策推進本部

#### 直近の感染状況等を踏まえた国民の皆様への呼びかけについて（周知のお願い）

平素より、新型コロナウイルス感染症対策に御尽力頂きありがとうございます。

本日、厚生労働省新型コロナウイルス感染症対策推進本部において、「新型コロナ・インフル同時流行対策タスクフォース」を開催し、タスクフォースとして、新型コロナのいわゆる第8波となる可能性や、インフルエンザの一部地域における増加傾向、病床や救急の状況を確認し（参考6参照）、今後、感染の増加が継続することも見据えて、国民の皆様への呼びかけの段階を先手先手で引き上げる判断を行いました（参考7参照）。

このため、厚生労働省においても、参画団体・行政機関の皆様と調整の上、10月28日に取りまとめた周知用リーフレットに関して、現在周知しているワクチン接種・新型コロナ抗原定性検査キット・解熱鎮痛薬の準備を呼びかけるリーフレット（別紙1）に加えて、重症化リスクの高い方や小学生以下の子ども向けのリーフレット（別紙2の1枚目）や、重症化リスクの低い方向けのリーフレット（別紙2の2枚目）についても、今後、感染の増加が継続することも見据えて、ウェブサイトやSNS等を通じて周知してまいりますので、御了知の上、関係各所への周知、また、ウェブサイトやSNS等を通じた周知に格別の御協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

なお、感染状況は各地域によって様々であることから、政府として、全国一律に呼びかけ内容の切替えを求めるものではなく、地域の実情に応じて、別紙2による呼びかけの実施時期が前後することも差し支えない旨、申し添えます。

また、新型コロナは一部地域で過去最高を更新しており、こうした地域では、より強いメッセージも含め、地域の実情に応じた適切な発信をお願いいたします。

感染状況（参考4参照）	周知用リーフレット
新型コロナや季節性インフルエンザの感染が落ち着いている状況	別紙1
新型コロナや季節性インフルエンザの感染者の増加が見られ、それぞれの感染拡大又は同時流行の兆しが見える状況	別紙2 （ただし医療のひっ迫が懸念される状況ではより強い呼びかけを実施する）
新型コロナや季節性インフルエンザの感染拡大又は同時流行により医療のひっ迫が懸念される状況	

- (参考1) 新型コロナウイルス・季節性インフルエンザの同時流行に備えた対応  
(厚生労働省特設ウェブサイト)  
[https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kansentaisaku\\_00003.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kansentaisaku_00003.html)
- (参考2) 新型コロナ・インフル同時流行対策タスクフォース開催要領  
<https://www.mhlw.go.jp/content/10900000/001002380.pdf>
- (参考3) 新型コロナウイルスと季節性インフルエンザの同時流行に備えた対応  
<https://www.mhlw.go.jp/content/10900000/001000988.pdf>
- (参考4) 新型コロナ・インフルエンザの同時流行を見据えた感染状況に応じた国民の皆様への呼びかけ  
<https://www.mhlw.go.jp/content/10900000/001002492.pdf>
- (参考5) 新型コロナウイルス感染拡大防止へのご協力をお願いします (リーフレット)  
<https://www.mhlw.go.jp/content/000884713.pdf>
- (参考6) 直近の感染状況及び医療提供体制の状況  
<https://www.mhlw.go.jp/content/10900000/001014453.pdf>
- (参考7) 直近の感染状況等を踏まえた国民の皆様への呼びかけ  
<https://www.mhlw.go.jp/content/10900000/001014600.pdf>

**【問い合わせ】**

新型コロナウイルス感染症対策推進本部  
(同時流行対策タスクフォースについて)

戦略班 : [variants@mhlw.go.jp](mailto:variants@mhlw.go.jp)

(周知用リーフレットについて)

広報班 : [corona-kouhou@mhlw.go.jp](mailto:corona-kouhou@mhlw.go.jp)

(同時流行に備えた医療体制、電話相談窓口等について)

医療班 : [corona-houkoku@mhlw.go.jp](mailto:corona-houkoku@mhlw.go.jp)

新型コロナウイルス感染症相談窓口

電話番号 : 0120-565653

# この冬は、ワクチン接種・新型コロナ抗原定性検査キット・解熱鎮痛薬の準備を

**!** 新型コロナウイルス感染症と季節性インフルエンザが同時に流行すると、発熱外来がひっ迫する可能性があります。

## 感染が拡大する前の接種をご検討ください



- ・新型コロナワクチンの接種**  
 新型コロナワクチンの早期の接種をお願いします。
- ・インフルエンザワクチンの接種**  
 65歳以上の方などの定期接種対象者で、接種を希望される方は早めの接種をお願いします。



## 発熱などの体調不良時にそなえて、早めに購入しておきましょう



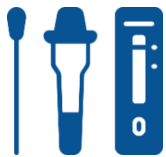
- ・新型コロナ抗原定性検査キット**
- ・解熱鎮痛薬**  
 かかりつけ薬剤師・薬局にお気軽にご相談ください。



## あわせて確認しておきましょう

- ・電話相談窓口などの連絡先**  
 受診・相談センターなどお住まいの地域の相談窓口、「救急車利用マニュアル」の参照や#7119（救急要請相談）、#8000（こども医療相談）など

その他、生活必需品なども用意しておきましょう。  
 (体温計・日持ちする食料(5~7日分)など)



## 国が承認した新型コロナ抗原定性検査キットを選びましょう

「研究用」ではなく国が承認した「医療用」もしくは「一般用」のキットを使用してください。



国が承認した検査キットの一覧



# 新型コロナウイルスの重症化リスクの高い方 (高齢者、基礎疾患を有する方、妊婦など)・ 小学生以下の子どもと保護者の方へ

## 感染が拡大する前の接種をご検討ください



- ・ **新型コロナワクチンの接種**  
新型コロナワクチンの早期の接種をお願いします。
- ・ **インフルエンザワクチンの接種**  
65歳以上の方などの定期接種対象者で、接種を希望される方は早めの接種をお願いします。



## 喉の痛みや発熱などの症状が出たら…

### 新型コロナウイルスの重症化リスクの高い方は

**速やかに発熱外来（診療・検査医療機関）を受診してください。**

新型コロナ抗原定性検査キットで陽性が確認された場合は、その結果を受診時に医師に伝えてください。



かかりつけ医がいる場合

**かかりつけ医にご相談ください。**

(受診・相談センターについて)

受診を迷った場合

**電話相談窓口などをご利用ください。**



受診・相談センターなどお住まいの地域の相談窓口、「救急車利用マニュアル」の参照や#7119（救急要請相談）など



以下の項目や疾患に該当する方は新型コロナウイルスの**重症化リスクが高い**と考えられるため、早めに相談・受診しましょう。

(救急車利用マニュアルについて)

- |   |                                 |                                 |  |
|---|---------------------------------|---------------------------------|--|
| <input type="checkbox"/> 65歳以上である       | <input type="checkbox"/> 喫煙歴がある | <input type="checkbox"/> 妊娠している | <input type="checkbox"/> 肥満（BMI30以上）     |
| <input type="checkbox"/> 糖尿病            | <input type="checkbox"/> がん     | <input type="checkbox"/> 慢性腎臓病  | <input type="checkbox"/> 脳血管疾患           |
| <input type="checkbox"/> 高血圧            | <input type="checkbox"/> 脂質異常症  | <input type="checkbox"/> 心血管疾患  | <input type="checkbox"/> 慢性呼吸器疾患（COPDなど） |
| <input type="checkbox"/> 免疫機能の低下の可能性がある |                                 |                                 |  |

### 小学生以下の子どもは

**かかりつけ医はじめ地域の小児科医などにご相談ください。**

特に、子どもの場合は、症状は年齢などによって様々です。機嫌がよく、辛そうでなければ、慌てずに様子を見たり、かかりつけ医にご相談ください。

受診を迷った場合  
夜間や休日の場合

**電話相談窓口などをご利用ください。**

(救急車利用マニュアルについて)



「救急車利用マニュアル」、「こどもの救急」等関係Webサイトの参照や#7119（救急要請相談）、#8000（こども医療相談）など



2歳未満では新型コロナ、5歳未満ではインフルエンザ、基礎疾患のある子どもは年齢にかかわらず両方の**重症化リスクがあります**ので、心配なことがあれば、予めかかりつけ医と対応を相談しておきましょう。

(こどもの救急について)

